

ひがしの子

令和4年3月1日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

2月4日～2月20日の日程で、『北京2020オリンピック』が開催されました。その中で、「男子モーグル」の堀島行真選手は岐阜県池田町出身、「女子スノーボードビッグエア」の村瀬心椛選手は岐阜第一高校在学中と、岐阜県からもメダリストが誕生していましたね。幼い頃からの環境として雪と触れて過ごせる利点があったからでしょうか。岐阜県は、市内でスキーやボードとはいかないものの、少し足を伸ばせばウィンタースポーツが可能な環境ですよ。やはり環境因子が人の成長に与える影響は大きいのかな・・・と感じた場面でした。そう考えると幼児期の環境ってやはり大切ですよ。幼児教育の中では、環境というと「もの」「こと」「人」の大きく3種類が含まれます。もちろん、私たち教師も大切な人的環境の一つです。そのため、子どもたちが主体的に遊びを楽しみ、その中で自分なりの気付きや発見をし、思いや考えをもって、周りの人と分かち合い、願いに向かってやり遂げていくことができるような遊びの環境を、日々追い求めて毎日を過ごしています。

現在は、「楽しみ会」に向けて、どのクラスも、自分たちなりの表現を楽しみ、遊びに必要な物を少しずつ製作しているところです。身に付けるものや大道具などが形になってきたことで、どの役をやりたいのか明確になったり、年中児、年長児になると、「どう表現したら、観ているお客さんが楽しめるのか」などを考えたりしながら進めています。特に年長児では、IPADで撮影し、それを観て振り返りながら「ここは、こうしたらいいんじゃない?」「こうやって言えば、いいね。」「今のよかったね。」など意見を出し合い、認め合いながら日増しに肉付けされています。保護者の方には、現在進行形で日々子ども同士思いや考えを伝え合いながら「楽しみ会」に取り組んでいる過程を観ていただくことはできませんが、当日の子どもたちが表現している姿からプロセスを想像しながらご覧いただくと幸いです。教師主導ではなく、子どもたちと共に対話しながら少しずつ進めています。

こあら組は、「大きなかぶ」や「もりのおふろ」など、日頃のごっこ遊びの延長線上で表現遊びを繰り返し楽しむことができました。なりきることの楽しさを十分に楽しみながら、日頃の生活再現が垣間見られて、とても可愛くて愛おしい姿が見られます。遊びに必要なものも、自分たちで塗ったり、描いたり、折ったり、切ったり、貼ったりして出来上がることに喜びを感じていました。「パンドろぼう」や「からすのぱんやさん」などがパンが出てくるお話が好きな子どもたちは、今は「ごりらのぱんやさん」の表現を楽しんでいます。



なつめ組は、日頃から子どもたちが猫になって遊ぶことが多く、紙芝居やペープサートの遊びを楽しみながら、会話のように台詞のやり取りを楽しんでいました。人形や動物の役に自分たちの経験を重ねる姿が特徴的で、劇中に「鬼ごっこ」や「だるまさんが転んだ」などを取り入れる姿が見られました。それゆえに会話はとても自然でした。しかし、観ている方には、内容が伝わりにくいこともありました。



でも、その頃から、一人の子が「魚が食べたい!」と言ったり、自分で魚の絵を描いて裏向けると骨になるものを作ったりして遊んでいました。それが、発展して現在進行中の「11ぴきのねこ」のストーリーで表現遊びを楽しんでいます。なつめ組らしいユーモアいっぱいの展開になっております。当日を楽しみにしててください。



たいよう組は、ずっと楽しんできた「光のショー」を生かして、光がきれいに見えるストーリーを、自分たちで探しました。子どもたちは、すぐに影絵や影の中にも光がきれいに見えるような登場人物を作成し、試しながら進めていきました。「みんなでやるために、もっと広くしよう!」と場所を遊戯室に変えてからは、振り返りの中で、「みんなが同じセリフしか言わないとつまらないと思う。」「じゃあ、一緒に遊ぼうって言うのはどう?」「さっきはごめん

ね。この～をあげるよって言ったらいいかも。」など、登場人物の気持ちを考えながら、次々と意見が出ていました。やはり年長児だなあと思うのは、話し合いをした翌日、演じる中で一人一人が考えてセリフや動きを変えていることです。海の生き物のように見える動きを考えて表現し、どうしてそのように言うのか理由を合わせて台詞を言い、創り上げるプロセスを十分に楽しんでいます。子どもたち一人一人の発想力の豊かさに感心します。たいよう組では、一人では決してできない、みんなで呼吸やタイミングを合わせようとする姿にご注目ください。

《3月の保育について》

【3歳児】

○年中児になる期待をもち、いろいろなことをやってみようとする。

○先生や友達と一緒に、いろいろな表現遊びを楽しむ。

進級作品や年長児へのプレゼントなど、製作の機会が多くなります。紙粘土で形を作ったり、絵を描いたりするなど、様々な表現方法を体験していけるようにしたいと思います。この時期には、課題に対して最後まで取り組むことができる力がついてきているので、十分に発揮してほしいと思っています。

プレゼント作りやお別れ会などを通して、年長児との別れを知ると共に、もうすぐ年中組になることへの期待ももつようになります。大きくなることに期待をもてるようにしますが、心の負担にならないように、友達や教師とゆったりとした楽しい時間を過ごしたり、ことばをかけたりにしていきたいと思います。

友達と一緒に資材で作ったものを持ったり、スカートをはいたり、衣装を身に付けたり、お面をつけたりして、同じポーズや動きをしたりすることを楽しむ姿も増えています。友達と気持ちを交流し合う、共感し合うことを十分に経験していけるように、ものや環境を整えたり、遊びを提案したりしていきたいと思います。



温かくなって日差しを感じながら戸外で体を動かして遊んだり、チューリップの芽や草花を見つけ季節が変わっていくことに気付いたりできるようにしていきたいと思います。

朝の身支度や着替え、給食の準備や片付け、うがい手洗い、歯磨きなどの基本的な生活習慣について自分でしようとする子どもが増えています。ひとつひとつ自分で取り組む姿を受け止め、認めながら丁寧に見届け、定着していくようにしたいと思います。

【4歳児】

○友達の中で自分を伸び伸びと表現し、共に過ごす楽しさを感じる。

○年長組になる生活を意識し、進級を楽しみにする。



進級作品や年長児へのプレゼントなどを作ったり、年長児から引き継いだ飼育当番をしたり、年長児になった時に収穫するジャガイモ植えをしたりすることを通して、年長組になることへの期待を膨らませていくようになります。中には、プレッシャーに感じる子もいるので、“楽しみ”と思えるようなイメージを伝えたり、言葉をかけたりしていきたいと思います。

製作では、自分なりに工夫したり、最後まで丁寧に仕上げたりすることができるように、材料を準備

したり、時間を保障したりしていきたいと思います。

戸外では、縄跳び、大縄跳び、「いろはにほへと」などの縄遊びや竹馬、転がしドッジボール、サッカーなどのボール遊び、鬼ごっこ、固定遊具などでの遊びなど、今までに遊んだことを友達と誘い合って取り組んだり、挑戦したりする意欲的な姿が見られるようになります。

友達の提案を受け止めて、みんなで楽しめるように教師が仲介したり一緒に遊んだりしていきたいです。“できない”“難しい”と感じている場合は、頑張っている姿を認めたり、やり方やコツを伝えたりしながら教師も一緒に取り組み、取り組みの過程を大切にしていきたいです。

いろいろなところで春の自然を見つけることへの気持ちが向けられるようにすることで、季節の変化を感じたり、気付いたりできるようにしていきたいです。

【5歳児】

○1年生になる期待と喜びをもって友達と一緒に遊んだり、共にいることを楽しんだりする。

○自分なりの願いをもち、それを達成するために遊びや生活の中に様々な環境を取り入れ、遊びを創り出す喜びを味わう。

お別れ会、卒園共同作品の製作や大掃除、修了式の練習など、様々な場面や行事、取り組みの中で、あと少しで幼稚園の生活が終わること、もうすぐ小学生になることを強く意識するようになります。

卒園に向けて慌ただしくなりがちですが、ゆったりとした時間の過ごし方に心がけ、友達と楽しく過ごす時間を保障していきたいと思います。

お別れ会や場を共有する遊びでは、年中児や年少児を思いやり、集団で行動するときの約束を教え

たりする姿も見られます。他学年の子どもたちと触れ合うことができるような内容、過ごし方を考えていきたいと思います。

今までの経験を生かして、自分たちで遊びを工夫したり作ったりしていく姿や、今まで経験した遊びをいろいろやってみようとしたりする姿が見られるようになります。

一人一人の思い、みんなの思いが実現するように、ものや場など環境を整えたり、教師も一緒に遊んだりして、“おもしろかった”“楽しかった”という思いを十分に味わえるようにしていきたいと思います。子ども一人一人の活躍の場をつくり、よさを伝え合い、自信をもって卒園できるようにしていきたいと思います。



お知らせとお願い

☆令和4年度から、夏季休業中の預かり保育がスタートします。

期間： 8月11日（木）～8月16日（火）を除く夏季休業中

時間： 9：00～17：00

対象児：全園児

※詳細は、4月にお便りでお知らせしたいと思います。

※これを機会に、公立幼稚園に入園できるかも・・・と思われるような方が、ご近所にいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。ご協力よろしく願いいたします。

☆まん延防止等重点措置の適用が延長された場合の「楽しみ会」について

たいよう組：3月9日（水）、なつめ組・こあら組：3月11日（金）

今後、「まん延防止等重点措置」の適用が延長されても、計画通り「楽しみ会」を実施する予定です。ただし、岐阜市教育委員会の指示などにより、やり方を変更することがあるかもしれません。延長された場合は、保護者の出し物はなしとし、短時間で済ませる方向を検討しております。予めご理解・ご了承のほどよろしくお願いいたします。